

愛知県が電気自動車普及のモデル地域に選定

経済産業省が募集する「EV・PHVタウン」モデル事業に、3月31日、愛知県が「実施地域」の一つとして選定されました。このモデル事業は、低炭素社会づくりに向け、電気自動車(EV)及びプラグインハイブリッド車(PHV)の普及を目的に行う実証実験です。これに伴い、4月23日、愛知県庁にてモデル事業の推進組織である「あいちEV・PHV普及ネットワーク」の設立会議が開催されました。

当社は、地域の自治体や企業と連携・協調して、初期需要の喚起、充電インフラの整備の呼びかけ、地域住民の方へのPR活動を展開し、地域社会におけるEV・PHVの普及に向けた支援を推進していきます。



参加者40名がEV・PHV普及に向け、相互の情報交換を実施

電気自動車 (EV)



名古屋で第2回CIGRE WG C6.15会議 開催

2月16日、JNC(日本CIGRE国内委員会)の協力の基に、当社本店にて第2回CIGRE WG C6.15「Electric Energy Storage Systems」会議が開催され、海外5カ国から6名、国内から当社電力技術研究所のS.C.Vermaをはじめ4名が出席しました。本会議は、太陽光発電、風力発電等の再生可能エネルギーの導入促進のために必要となる各種電力貯蔵技術の動向の把握や適用性・経済性の視点からの評価を目標としています。今回は、各委員から担当分野の中間報告が行われ、それに対する評価と今後の進め方について活発な議論が行われました。

翌日の2月17日は見学会を開催し、午前はシャープ(株)殿の亀山工場にて、稼働中のSMES(10MVA)、電気二重層キャパシタ(10MVA×2台)の各瞬低補償装置や工場の屋上に設置された各種太陽光発電システムの

視察を行いました。2種類の瞬低補償装置は、世界最大規模の装置であったため、参加者から盛んに質疑が行われました。午後は日本ガイシ(株)殿の本社を訪問し、NaS電池の開発状況と今後の取り組みについて説明を受け議論を行うとともに、構内の11年間運転中の500kW NaS電池システムを見学しました。



会議の様子



500kW NaS電池システム 見学の様子

「第3回中部電力グループ知的財産情報連絡会」を開催

技術開発本部知的財産グループは、5月8日、当社東桜会館において、中部電力グループ全社を対象に、知的財産に対する知識・意識の向上およびグループ会社間の情報交換を目的として、「第3回中部電力グループ知的財産情報連絡会」を開催しました

会議では、石田国際特許事務所の石田喜樹所長(弁理士)による講演「事業活動と権利侵害」を通じて、ビジネスにおける権利侵害行為やその行為が及ぼす影響等について知識を高めました。また、グループ各社の知的財産に関する取り組み状況、今後の業務改善点等につい

て意見交換を行い、知的財産に関する意識の向上を図ることができました。



会場の様子(講演する石田所長)